



# 東京金山会通信 No.47

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)  
☎080-5525-0435  
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

## 東京金山会第64回総会に向けて

2023年1月28日、東京金山会役員会を開催しました。  
新年を迎え、さっそく第64回総会開催に向けた具体的な準備を開始すべく、準備事項の確認と各役員の任務分担を中心に行いました。総会の開催日は2023年6月18日(日)、場所は前回と同じくアートホテル日暮里・ラングウッド(東京都荒川区)です。  
今回の役員会では、①会場手配、案内状などの製作物準備など近々で期限を迎える事項の具体的な段取り ②新聞広告手配 ③総会当日の役割分担・懇親会内容の調整など実務的な内容の確認を行いました。そして、新型コロナウイルス感染症対策には万全を期しつつ、昨今のマスク着用義務解除などによる制限の無い開催が想定されるなど、参加される方がより喜んでいただける内容とすることを目標に役員一同で議論を重ねています。さらには、「かねやま市」などの取組を考慮し、金山を盛り上げる動きを加速できるようなコンテンツを検討していくことなどがあらためて確認されました。  
金山の方々にもご協力をいただきながら、より良い総会・懇親会の開催ができるよう取り組んでまいります。



▲役員会の様子 (東京金山会事務所)



▲総会の開催に向け役員一同頑張ります (役員会懇親会参加者)

## No.205 「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



『ゆりちゃんのおひなさま』  
(花山かずみ/作絵  
PHP研究所)

「これはあひるのガーコ、くまのトコちゃん。そして、ねこのタマです」ひなまつりの朝、ゆりちゃんはおひなさまに友達を紹介しました。すると「なんてうらやましい…」どこからか声が聞こえてきます。なんと声の主は三人官女でした。「どうしてうらやましいの?」「だって私には名前がありません。三人まとめて三人官女なんてあんまりです」そこでゆりちゃんは三人に名前をつけてあげました。すると今度は「わらわにもなまえをつけてたもれ」とおひなさまが言いだして…。名前があること、名前を呼ぶことでどんな便利なことや嬉しいことがあるのかを教えてくださいの一冊です。

『教誨(きょうごうかい)』  
(袖月裕子/小学館)  
その罪は彼女一人が背負わなければならないものだったのだろうか…。遠縁の死刑囚・響子の身柄引受人に指名された香純と母は刑の執行後、遺骨を受け取った。「約束は守ったよ、褒めて」という響子の最期の言葉。その真意を探るため、香純は事件を知る関係者と面会を重ねてゆく。響子が交わした約束とはなんだったのか…。



『いたわりごはんクワタ  
な心と体をおいしく満たす』  
(長谷川あかり/KADOKAWA)  
現代を生き抜く私たちには、手間なし&ストレスフリーで【たっぷりおいしく】自分を満たしてあげる、いたわりごはんが必要だ。気持ちを上げてくれる「こんなの待ってた!」が全部詰まっている一冊です。何度も食べたくなる、作りたくなる私たちのためのいたわりごはんレシピ集。



※( )内作者名

ハヤブサ消防団 (池井戸潤)  
しろがねの葉 (千早茜)  
リバー (奥田英朗)  
ミシンと金魚 (永井みみ)  
ラプカは静かに弓を持つ (安檀美緒)

ミーツ・ザ・ワールド (金原ひとみ)  
母という呪縛 娘という牢獄 (齊藤彩)  
大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした (クルベウ)  
バナナの魅力を100文字で伝えてください (柿内尚文)  
5日間で「思いつかない」「まとまらない」「伝わらない」がなくなる本 (ひきたよしあき)

今月は10冊!

## ふんげい

### 金山杉俳句会報 第四七二回

星川 キエ子  
生れしより老いる 理初鏡  
静寂なる湖面も拝むお水取り

岸 あき子  
置の目三日で三つ日脚伸ぶ  
編さしの毛糸に転ぶ双子猫

高橋 洋子  
賀状減る寄る年波に時流れ  
屋根の雪軋む音立て雪崩落つ

鶴沼 よし子  
嫁ヶ家の冬至南瓜を戴きぬ  
寒芹の香り豊かに鍋囲む

阿部 一代  
靴下を自分に褒美の女正月  
水仙を一輪活けて年祝ふ

栗田 弥超  
暖房の誘ひに開くウツボ草  
湯豆腐の蒔蓄聴きつ襖酒

星川 キエ子  
白鳥の列を乱さず家族愛  
日脚伸ぶ帰路の足元ゆるやかに  
道端や土手のぬくもり春近し

菅越 庄司 けみ子  
雪しまき前車の尾灯帰り道  
葉ボタンや我に応援鮮やかに  
他人まねで凍み大根に挑戦す

荒屋 阿部 勝子  
仏前に紅梅一枝生けにけり  
好きな旅せよと届きしお年玉  
八十の友逢へて嬉しや年始め

七日町 青柳 キエ子  
平穏と幸福願ふ初日の出  
明けの空遠嶺を染める朝ぼらけ  
おだやかな雪の時間の夕茜

七日町 柴田 栖静  
年迎へ平和の音色おだやかに  
初稽古香る水仙凜として  
夕映へや彩の浮立つ寒椿

上 台 阿部 一步  
厳寒や倒れし妻の手握り締め  
奇蹟にも神仏願ふ冬の空  
脳病ひ解けて春日の妻を待つ

## はじめまして! 地域おこし協力隊に着任しました!

隊員 池田達哉



神室トラウトファーム(二代目いわなや)として日々の活動をお伝えしていきます!ぜひフォローしてください!

こんにちは!  
令和5年2月1日付で、産業課所属の地域おこし協力隊として赴任しました池田達哉と申します。有屋にある「いわなや」の事業承継を目指し、活動して参ります。簡単ではありますが、自己紹介と活動内容、目標を書かせて頂きます。

①自己紹介  
私は、生まれも育ちも宮城県ですが、父の実家が寒河江市にあったことで、幼少期より、蔵王はじめ山形県になじみがある環境でした。  
直近では、都内の企業で18年ほど勤務し、最後は人材業界の仕事をしていました。  
しかし、金山町協力隊募集のYouTubeをきっかけに、昨夏に師匠である小沼四市さんと出会い、私が叶えたい夢の想いが共感し、本気で「いわなや」事業をやるうと、1月末に会社を退社して、2月より協力隊を拝命しました。

②活動内容  
1 「いわなや」の養殖技術と伝統を承継します。  
2 セラピーファームめぐりたまで、これまでの知見を活かした活動を行います。  
③目標  
事業を託す人と託される人の想いを大切に、「二代目いわなや」として、仲間とともに、オンラインとオフラインの融合を見据えて、将来に渡って地域産業へ貢献できるように取り組んでいきます。  
金山町の皆さん、これからよろしく願います!

理想の金山の風景画を友人に描いてもらいました!これから頑張ります!

